



平成23年7月1日より新米ガバナーとしてデビューして以来、はや残すところ約2ヶ月。振り返ると早いですが、期間中は何かと多忙を極めています。

昨年1月に渡米して国際協議会に出席し、ガバナーとしての研修を満了し形は出来ましたが、不安一杯で帰国し、PETS、地区協議会の準備に入った矢先の3月11日午後、国難ともいえる東日本大震災が勃発しました。テレビに映し出された光景は何という悲惨な姿なのでしょう。俄には信じ難い画面に食い入るように見入り、これはロータリーの組織をあげて援助しなくてはならない、私への試練であると考えさせられました。PETS、地区協議会において災害支援プロジェクトの早急なる組織作りを提案し、それ以後、地区内会員に対して寄付金のお願いを絶えずいたしました。前年度ガバナー会との考え方の相違により一度皆様方から前年度ガバナー会へ拠出いただいた義援金を地区に戻していただき、各クラブへのアンケートを実施の後、地区に残ったお金と寄付金とを加えて災害支援プロジェクトの原資といたしました。地区大会においては私自身被災地に向き、惨状を目の前にした経緯から各クラブ会員に対して災害支援を重ねてお願いいたしました。この頃から各クラブの反応が鋭くなり、様々なプロジェクトの事案が被災地に向けて実行されるようになりました。地区会員の被災地に向けての「熱い思い」と「絆」が結実して参りました。あと数ヶ月ですが、私の在任中に寄付金を全て使い切っていただきたいと思えます。何よりも嬉しいことに、2月のクラブ社会奉仕委員長会議の折にプロジェクトを実施されたクラブの方から地区の災害支援プロジェクト委員会の支援金に対する「決断力」と「申請書の簡便さ」に対して讃辞を頂戴いたしましたことは私にとっては大変光栄なことと受け止めております。

次に、地区広報委員会が広報活動として2ヶ年に亘り計画されましたプロジェクトです。昨年2月、大谷PGがインドへポリオ・ワクチンの接種に行かれた時の記録をテレビ大阪開局30周年記念事業と協同で全国へ「感染症ポリオ残り1%の闘い」のタイトルでテレビ放映、そしてその記録をDVDに記録し、全国のガバナー事務所へ贈呈出来ましたことです。ポリオ2億ドルチャレンジは今年達成されました。

さらに、私にとって良かったなと思うことは、新クラブをガバナー主導で立ち上げることが出来ました。私一人で立ち上げた訳では当然ありません。これに参画いただいた横山PG、西口会長および大阪アーバンRCの会員一人一人の活躍があればこそです。第2660地区内会員が年々減少していく中での新クラブ結成というアドバルーンは大変勇気のいることでした。どうすればいいのかと日夜悩む日々でしたが、若い人達に、そしてロータリークラブに入りたいが時間的な制約（例会日・例会時間等）から入会をためらっておられる方々を是非とも会員として迎えたいという思いのもと、早朝例会のクラブを作ることといたしました。今年の国際協議会に出席いただいた高島GEは、次年度RI会長の田中作次さんから、日本で今年初めて出来たクラブであり、今年中は出来ないであろう新クラブを第2660地区で立ち上げていただいたことに感謝しますというメッセージをいただいたと報告されております。

何も分からない所から出発いたしました。目今の出来事に対処している間にあと数ヶ月の在任期間を迎えることとなりましたが、皆様の熱い思いをもう少しの間、私に向けていただきたく思います。

合掌